

専門実践教育訓練明示書

1. 講座情報

| | | | | | |
|------------------|----------------------------|------------|------------|---------------|-----------------------|
| 講座の名称 | 介護福祉士実務者研修(初任者研修修了者) | | | | |
| 施設名 | ビーイング | | | | |
| 実施者名 | 株式会社ビーイング | | | | |
| 指定講座番号 | 3810020-1910011-0 | | | | |
| 教育訓練給付金対象講座の指定期間 | 令和7年4月1日～令和10年3月31日 | | | | |
| 講座の創設年月日 | 平成28年5月1日 | | | | |
| 実施方法 | 通信課程 スクーリング(7日間) | 訓練期間(訓練時間) | 6ヶ月(327時間) | | |
| 開講月 | 教室により異なります (訓練は開講月の1日から開始) | | | | |
| 入学科(税込額) | 0円 | 受講料(税込額) | 80,000円 | 教育訓練経費合計(税込額) | 80,000円 (含まれない経費有) |
| 支払方法 | 一括払・分割払 | | | | |

2. 教育訓練目標

| | |
|---|--|
| ①取得目標とする資格の名称、目標レベル | 介護福祉士実務者研修 |
| ②当該資格・試験等の実施機関名称 | 厚生労働省 |
| ③当該資格等を取得するための要件または受験資格等 | 修了に必要な受講科目及び受講時間数全てを受講し、全ての科目に合格することが必要。 |
| ④当該技能・知識の習得が必須又は有利となる職種・職務及び習得された技能・知識が活用されている業界と活用状況 | 福祉施設、医療機関等 |

3. 受講者となるための要件(この講座を受講するために必要とされている条件など)

| | |
|--------------------------------------|-------------|
| ①受講するに当たって必要な実務経験等 | 特になし |
| ②受講者が受講に最低限有しておくべき資格・技能・知識等の内容及びその水準 | 介護職員初任者研修修了 |

4. 教育訓練の受講による効果及び測定の方法並びにそのレベルを受講者に対して明らかにするための具体的な方法

| | |
|---------------------------------|--|
| 教育訓練目標に対する技能・知識のレベル到達度の把握・測定方法 | レポート提出・スクーリングについて講師が評価を行い、全過程を修了した場合、実務者研修の修了とみなす。 |
| (通信制講座の場合) スクーリングの実施場所、時期、期間 | 実施場所:基本的に公共施設(社会福祉センターなど) 時期:当該訓練期間内 期間:7日間 |

5. 受講効果の把握方法

| | |
|--|---|
| (1)受講認定基準 (6ヶ月ごとの出席率・定期試験、進級試験等の具体的な基準) | 通信科目は、添削課題を指定期間内に解答し提出。7割以上の正解において評価基準を満たしたものとします。スクーリングは、介護過程Ⅲ(実技試験、記録、学習態度における評価)は、7割以上の得点で評価基準を満たしたものとします。医療的ケア(演習)においては、基準を達成することが必要です。 |
| (2)受講認定基準に係る、教育目標に対する技能・知識のレベル到達度把握・測定方法 | 各科目、合格点に達していない科目については担当講師より学習のアドバイスをを行います。それでも習得度が不十分な場合は、面接学習において指導を行います。 |
| (3)修了認定基準 (出席率・修了認定試験等の具体的な基準) | 通信科目においては7割以上の正解において合格とし、スクーリングにおいては、すべての授業に出席し、所定の評価基準をみたしていることが確認された場合、修了証を発行します。 |
| (4)修了認定基準に係る、教育目標に対する技能・知識のレベル到達度把握・測定方法 | レポート提出・スクーリングについて講師が評価を行い、全過程を修了した場合、実務者研修の修了とみなします。 |

6. 受講中又は修了後における受講者に対する指導及び助言並びに支援の方法

| | |
|---|---|
| (1)受講中の者に対する習得度・理解度に関する具体的な助言・指導の方法 | (自宅学習)各科目、合格点に達していない科目については担当講師より学習のアドバイスをを行います。それでも習得度が不十分な場合は、面接学習において指導を行います。質問がある場合は、質問用紙に記入し提出。後日、担当講師が対応し、受講者に回答します。(スクーリング)講師がその場で直接答え、アドバイスします。 |
| (2)受講中又は修了時における資格取得・就職への具体的なバックアップ体制 (例:資格取得関連情報や資格関連職種の求人情報の提供方法、早期就職に向けた具体的な相談体制の整備状況) | 基本的に働いている方対象の研修であるが、要望があれば随時、就職相談、アドバイスを行います。 |

7. 受講修了者による講座の評価等(2023年度)

| | | |
|----------------------|--------------------------|-------|
| ① 回答者総数 | | 35 人 |
| ② 受講開始時の就業状況等 | 1 正社員 | 71 % |
| | 2 非正社員、派遣社員 | 26 % |
| | 3 その他の就業 | 0 % |
| | 4 非就業 | 3 % |
| ③ 就業中の受講者による講座の評価 | 1 処遇の向上(昇進、昇格、資格手当等)に役立つ | 63 % |
| | 2 配置転換等により希望の業務に従事できる | 3 % |
| | 3 社内外の評価が高まる | 9 % |
| | 4 円滑な転職に役立つ | 14 % |
| | 5 趣味・教養に役立つ | 6 % |
| | 6 その他の効果 | 3 % |
| | 7 特に効果はない | 3 % |
| ④ 就業していない受講者による講座の評価 | 1 より良い条件(賃金等)で就職できる | 100 % |
| ⑤ 受講者の就業状況 | 1 受講中又は受講修了後3か月以内に就職した | 100 % |
| ⑥ 講座の全体評価 | 1 大変満足 | 49 % |
| | 2 おおむね満足 | 51 % |

8. 教育訓練の内容(教育内容及び到達目標はシラバス参照)

| 教科 (カリキュラム) | 時間 | 使用教材名 |
|--------------|-----|-------------------------------|
| (通信学習) | | 介護福祉士実務者研修テキスト (1巻～5巻)中央法規 |
| 社会の理解Ⅱ | 30 | |
| 介護の基本Ⅱ | 20 | |
| コミュニケーション技術 | 20 | |
| 介護過程Ⅱ | 25 | |
| こころとからだのしくみⅡ | 60 | |
| 発達と老化の理解Ⅰ | 10 | |
| 発達と老化の理解Ⅱ | 20 | |
| 認知症の理解Ⅱ | 20 | |
| 障害の理解Ⅱ | 20 | |
| 医療的ケア | 50 | |
| (スクーリング) | | |
| 介護過程Ⅲ | 45 | |
| 医療的ケア(演習) | 7 | |
| 合計 | 327 | |

| | | |
|----------------------|----------------------|------------------|
| 指定教育訓練実施者名 及び代表者名 | 株式会社ビーイング 代表取締役 富田和夫 | |
| 住所及び連絡先 | 松山市山越6-6-22 白鳳会館206号 | TEL 089-925-8815 |
| 苦情受付者(事務担当者) | 富田 和夫 | TEL 089-925-8815 |

専門実践教育訓練明示書

1. 講座情報

| | | | | | |
|------------------|----------------------------|------------|------------|---------------|-----------------------|
| 講座の名称 | 介護福祉士実務者研修(2級課程修了者) | | | | |
| 施設名 | ビーイング | | | | |
| 実施者名 | 株式会社ビーイング | | | | |
| 指定講座番号 | 3810020-1910021-3 | | | | |
| 教育訓練給付金対象講座の指定期間 | 令和7年4月1日～令和10年3月31日 | | | | |
| 講座の創設年月日 | 平成28年5月1日 | | | | |
| 実施方法 | 通信課程 スクーリング(7日間) | 訓練期間(訓練時間) | 6ヶ月(327時間) | | |
| 開講月 | 教室により異なります (訓練は開講月の1日から開始) | | | | |
| 入学金(税込額) | 0円 | 受講料(税込額) | 80,000円 | 教育訓練経費合計(税込額) | 80,000円 (含まれない経費有) |
| 支払方法 | 一括払・分割払 | | | | |

2. 教育訓練目標

| | |
|---|--|
| ①取得目標とする資格の名称、目標レベル | 介護福祉士実務者研修 |
| ②当該資格資格・試験等の実施機関名称 | 厚生労働省 |
| ③当該資格等を取得するための要件または受験資格等 | 修了に必要な受講科目及び受講時間数全てを受講し、全ての科目に合格することが必要。 |
| ④当該技能・知識の習得が必須又は有利となる職種・職務及び習得された技能・知識が活用されている業界と活用状況 | 福祉施設、医療機関等 |

3. 受講者となるための要件 (この講座を受講するために必要とされている条件など)

| | |
|--------------------------------------|-------------|
| ①受講するに当たって必要な実務経験等 | 特になし |
| ②受講者が受講に最低限有しておくべき資格・技能・知識等の内容及びその水準 | 介護職員初任者研修修了 |

4. 教育訓練の受講による効果及び測定の方法並びにそのレベルを受講者に対して明らかにするための具体的な方法

| | |
|--------------------------------|--|
| 教育訓練目標に対する技能・知識のレベル到達度の把握・測定方法 | レポート提出・スクーリングについて講師が評価を行い、全過程を修了した場合、実務者研修の修了とみなす。 |
| (通信制講座の場合) スクーリングの実施場所、時期、期間 | 実施場所: 基本的に公共施設(社会福祉センターなど) 時期: 当該訓練期間内 期間: 7日間 |

5. 受講効果の把握方法

| | |
|---|---|
| (1) 受講認定基準 (6ヶ月ごとの出席率・定期試験、進級試験等の具体的な基準) | 通信科目は、添削課題を指定期間内に解答し提出。7割以上の正解において評価基準を満たしたものとします。スクーリングは、介護過程Ⅲ(実技試験、記録、学習態度における評価)は、7割以上の得点で評価基準を満たしたものとします。医療的ケア(演習)においては、基準を達成することが必要です。 |
| (2) 受講認定基準に係る、教育目標に対する技能・知識のレベル到達度把握・測定方法 | 各科目、合格点に達していない科目については担当講師より学習のアドバイスをを行います。それでも習得度が不十分な場合は、面接学習において指導を行います。 |
| (3) 修了認定基準 (出席率・修了認定試験等の具体的な基準) | 通信科目においては7割以上の正解において合格とし、スクーリングにおいては、すべての授業に出席し、所定の評価基準をみたしていることが確認された場合、修了証を発行します。 |
| (4) 修了認定基準に係る、教育目標に対する技能・知識のレベル到達度把握・測定方法 | レポート提出・スクーリングについて講師が評価を行い、全過程を修了した場合、実務者研修の修了とみなします。 |

6. 受講中又は修了後における受講者に対する指導及び助言並びに支援の方法

| | |
|--|---|
| (1) 受講中の者に対する習得度・理解度に関する具体的な助言・指導の方法 | (自宅学習)各科目、合格点に達していない科目については担当講師より学習のアドバイスをを行います。それでも習得度が不十分な場合は、面接学習において指導を行います。質問がある場合は、質問用紙に記入し提出。後日、担当講師が対応し、受講者に回答します。(スクーリング)講師がその場で直接答え、アドバイスします。 |
| (2) 受講中又は修了時における資格取得・就職への具体的なバックアップ体制 (例: 資格取得関連情報や資格関連職種の求人情報の提供方法、早期就職に向けた具体的な相談体制の整備状況) | 基本的に働いている方対象の研修であるが、要望があれば随時、就職相談、アドバイスを行います。 |

7. 受講修了者による講座の評価等(2023年度)

| | | |
|----------------------|--------------------------|------|
| ① 回答者総数 | | 12 人 |
| ② 受講開始時の就業状況等 | 1 正社員 | 75 % |
| | 2 非正社員、派遣社員 | 25 % |
| | 3 その他の就業 | 0 % |
| | 4 非就業 | 0 % |
| ③ 就業中の受講者による講座の評価 | 1 処遇の向上(昇進、昇格、資格手当等)に役立つ | 58 % |
| | 2 配置転換等により希望の業務に従事できる | 8 % |
| | 3 社内外の評価が高まる | 8 % |
| | 4 円滑な転職に役立つ | 17 % |
| | 5 趣味・教養に役立つ | % |
| | 6 その他の効果 | 8 % |
| | 7 特に効果はない | % |
| ④ 就業していない受講者による講座の評価 | 1 より良い条件(賃金等)で就職できる | % |
| ⑤ 受講者の就業状況 | 1 受講中又は受講修了後3か月以内に就職した | % |
| ⑥ 講座の全体評価 | 1 大変満足 | 67 % |
| | 2 おおむね満足 | 33 % |

8. 教育訓練の内容(教育内容及び到達目標はシラバス参照)

| 教科 (カリキュラム) | 時間 | 使用教材名 |
|--------------|-----|-------------------------------|
| (通信学習) | | 介護福祉士実務者研修テキスト (1巻～5巻)中央法規 |
| 社会の理解Ⅱ | 30 | |
| コミュニケーション技術 | 20 | |
| 介護過程Ⅱ | 25 | |
| こころとからだのしくみⅡ | 60 | |
| 発達と老化の理解Ⅰ | 10 | |
| 発達と老化の理解Ⅱ | 20 | |
| 認知症の理解Ⅰ | 10 | |
| 認知症の理解Ⅱ | 20 | |
| 障害の理解Ⅰ | 10 | |
| 障害の理解Ⅱ | 20 | |
| 医療的ケア | 50 | |
| (スクーリング) | | |
| 介護過程Ⅲ | 45 | |
| 医療的ケア(演習) | 7 | |
| 合計 | 327 | |

| | | |
|----------------------|----------------------|------------------|
| 指定教育訓練実施者名 及び代表者名 | 株式会社ビーイング 代表取締役 富田和夫 | |
| 住所及び連絡先 | 松山市山越6-6-22 白鳳会館206号 | TEL 089-925-8815 |
| 苦情受付者(事務担当者) | 富田 和夫 | TEL 089-925-8815 |

専門実践教育訓練明示書

1. 講座情報

| | | | | | |
|------------------|--------------------------|------------|------------|---------------|-----------------------|
| 講座の名称 | 介護福祉士実務者研修(無資格者) | | | | |
| 施設名 | ビーイング | | | | |
| 実施者名 | 株式会社ビーイング | | | | |
| 指定講座番号 | 3810020-1910031-6 | | | | |
| 教育訓練給付金対象講座の指定期間 | 令和7年4月1日～令和10年3月31日 | | | | |
| 講座の創設年月日 | 平成28年5月1日 | | | | |
| 実施方法 | 通信課程 スクーリング(7日間) | 訓練期間(訓練時間) | 6ヶ月(457時間) | | |
| 開講月 | 教室により異なる。(訓練は開講月の一日から開始) | | | | |
| 入学金(税込額) | 0円 | 受講料(税込額) | 88,000円 | 教育訓練経費合計(税込額) | 88,000円 (含まれない経費有) |
| 支払方法 | 一括払・分割払 | | | | |

2. 教育訓練目標

| | |
|---|--|
| ①取得目標とする資格の名称、目標レベル | 介護福祉士実務者研修 |
| ②当該資格資格・試験等の実施機関名称 | 厚生労働省 |
| ③当該資格等を取得するための要件または受験資格等 | 修了に必要な受講科目及び受講時間数全てを受講し、全ての科目に合格することが必要。 |
| ④当該技能・知識の習得が必須又は有利となる職種・職務及び習得された技能・知識が活用されている業界と活用状況 | 福祉施設、医療機関等 |

3. 受講者となるための要件(この講座を受講するために必要とされている条件など)

| | |
|--------------------------------------|------|
| ①受講するに当たって必要な実務経験等 | 特になし |
| ②受講者が受講に最低限有しておくべき資格・技能・知識等の内容及びその水準 | 特になし |

4. 教育訓練の受講による効果及び測定の方法並びにそのレベルを受講者に対して明らかにするための具体的な方法

| | |
|--------------------------------|--|
| 教育訓練目標に対する技能・知識のレベル到達度の把握・測定方法 | レポート提出・スクーリングについて講師が評価を行い、全過程を修了した場合、実務者研修の修了とみなす。 |
| (通信制講座の場合) スクーリングの実施場所、時期、期間 | 実施場所: 基本的に公共施設(社会福祉センターなど) 時期: 当該訓練期間内 期間: 7日間 |

5. 受講効果の把握方法

| | |
|--|---|
| (1) 受講認定基準 (6ヶ月ごとの出席率・定期試験、進級試験等の具体的基準) | 通信科目は、添削課題を指定期間内に解答し提出。7割以上の正解において評価基準を満たしたものとします。スクーリングは、介護過程Ⅲ(実技試験、記録、学習態度における評価)は、7割以上の得点で評価基準を満たしたものとします。医療的ケア(演習)においては、基準を達成することが必要です。 |
| (2) 受講認定基準に係る、教育目標に対する技能・知識のレベル到達度把握・測定方法 | 各科目、合格点に達していない科目については担当講師より学習のアドバイスをを行います。それでも習得度が不十分な場合は、面接学習において指導を行います。 |
| (3) 修了認定基準 (出席率・修了認定試験等の具体的な基準) | 通信科目においては7割以上の正解において合格とし、スクーリングにおいては、すべての授業に出席し、所定の評価基準をみたしていることが確認された場合、修了証を発行します。 |
| (4) 修了認定基準に係る、教育目標に対する技能・知識のレベル到達度把握・測定方法 | レポート提出・スクーリングについて講師が評価を行い、全過程を修了した場合、実務者研修の修了とみなします。 |

6. 受講中又は修了後における受講者に対する指導及び助言並びに支援の方法

| | |
|---|---|
| (1) 受講中の者に対する習得度・理解度に関する具体的な助言・指導の方法 | (自宅学習)各科目、合格点に達していない科目については担当講師より学習のアドバイスをを行います。それでも習得度が不十分な場合は、面接学習において指導を行います。質問がある場合は、質問用紙に記入し提出。後日、担当講師が対応し、受講者に回答します。(スクーリング)講師がその場で直接答え、アドバイスします。 |
| (2) 受講中又は修了時における資格取得・就職への具体的なバックアップ体制 (例: 資格取得関連情報や資格関連職種の求人情報の提供方法、早期就職に向けた具体的な相談体制の整備状況) | 基本的に働いている方対象の研修であるが、要望があれば随時、就職相談、アドバイスを行います。 |

7. 受講修了者による講座の評価等(2023年度)

| | | |
|----------------------|--------------------------|-------|
| ① 回答者総数 | | 104 人 |
| ② 受講開始時の就業状況等 | 1 正社員 | 81 % |
| | 2 非正社員、派遣社員 | 17 % |
| | 3 その他の就業 | 0 % |
| | 4 非就業 | 2 % |
| ③ 就業中の受講者による講座の評価 | 1 処遇の向上(昇進、昇格、資格手当等)に役立つ | 50 % |
| | 2 配置転換等により希望の業務に従事できる | 13 % |
| | 3 社内外の評価が高まる | 6 % |
| | 4 円滑な転職に役立つ | 13 % |
| | 5 趣味・教養に役立つ | 13 % |
| | 6 その他の効果 | 4 % |
| | 7 特に効果はない | 1 % |
| ④ 就業していない受講者による講座の評価 | 1 早期に就職ができる | 50 % |
| | 3 より良い条件(賃金等)で就職できる | 50 % |
| ⑤ 受講者の就業状況 | 1 受講中又は受講修了後3か月以内に就職した | 100 % |
| ⑥ 講座の全体評価 | 1 大変満足 | 70 % |
| | 2 おおむね満足 | 28 % |
| | 3 どちらとも言えない | 2 % |

8. 教育訓練の内容(教育内容及び到達目標はシラバス参照)

| 教科 (カリキュラム) | 時間 | 使用教材名 |
|--------------|-----|-------------------------------|
| (通信学習) | | 介護福祉士実務者研修テキスト (1巻～5巻)中央法規 |
| 人間の尊厳と自立 | 5 | |
| 社会の理解Ⅰ | 5 | |
| 社会の理解Ⅱ | 30 | |
| 介護の基本Ⅰ | 10 | |
| 介護の基本Ⅱ | 20 | |
| コミュニケーション技術 | 20 | |
| 生活支援技術Ⅰ | 30 | |
| 生活支援技術Ⅱ | 20 | |
| 介護課程Ⅰ | 20 | |
| 介護過程Ⅱ | 25 | |
| こころとからだのしくみⅠ | 20 | |
| こころとからだのしくみⅡ | 60 | |
| 発達と老化の理解Ⅰ | 10 | |
| 発達と老化の理解Ⅱ | 20 | |
| 認知症の理解Ⅰ | 10 | |
| 認知症の理解Ⅱ | 20 | |
| 障害の理解Ⅰ | 10 | |
| 障害の理解Ⅱ | 20 | |
| 医療的ケア | 50 | |
| (スクーリング) | | |
| 介護過程Ⅲ | 45 | |
| 医療的ケア(演習) | 7 | |
| 合計 | 457 | |

| | | |
|----------------------|----------------------|------------------|
| 指定教育訓練実施者名 及び代表者名 | 株式会社ビーイング 代表取締役 富田和夫 | |
| 住所及び連絡先 | 松山市山越6-6-22 白鳳会館206号 | TEL 089-925-8815 |
| 苦情受付者(事務担当者) | 富田 和夫 | TEL 089-925-8815 |

専門実践教育訓練明示書

1. 講座情報

| | | | | | |
|------------------|----------------------------|------------|------------|---------------|-----------------------|
| 講座の名称 | 介護福祉士実務者研修(初任者研修修了者)4ヶ月 | | | | |
| 施設名 | ビーイング | | | | |
| 実施者名 | 株式会社ビーイング | | | | |
| 指定講座番号 | 3810020-2010011-0 | | | | |
| 教育訓練給付金対象講座の指定期間 | 令和5年4月1日～令和8年3月31日 | | | | |
| 講座の創設年月日 | 平成28年5月1日 | | | | |
| 実施方法 | 通信課程 スクーリング(7日間) | 訓練期間(訓練時間) | 4ヶ月(327時間) | | |
| 開講月 | 教室により異なります (訓練は開講月の1日から開始) | | | | |
| 入学金(税込額) | 0円 | 受講料(税込額) | 80,000円 | 教育訓練経費合計(税込額) | 80,000円 (含まれない経費有) |
| 支払方法 | 一括払・分割払 | | | | |

2. 教育訓練目標

| | |
|---|--|
| ①取得目標とする資格の名称、目標レベル | 介護福祉士実務者研修 |
| ②当該資格資格・試験等の実施機関名称 | 厚生労働省 |
| ③当該資格等を取得するための要件または受験資格等 | 修了に必要な受講科目及び受講時間数全てを受講し、全ての科目に合格することが必要。 |
| ④当該技能・知識の習得が必須又は有利となる職種・職務及び習得された技能・知識が活用されている業界と活用状況 | 福祉施設、医療機関等 |

3. 受講者となるための要件 (この講座を受講するために必要とされている条件など)

| | |
|--------------------------------------|-------------|
| ①受講するに当たって必要な実務経験等 | 特になし |
| ②受講者が受講に最低限有しておくべき資格・技能・知識等の内容及びその水準 | 介護職員初任者研修修了 |

4. 教育訓練の受講による効果及び測定の方法並びにそのレベルを受講者に対して明らかにするための具体的な方法

| | |
|--------------------------------|--|
| 教育訓練目標に対する技能・知識のレベル到達度の把握・測定方法 | レポート提出・スクーリングについて講師が評価を行い、全過程を修了した場合、実務者研修の修了とみなす。 |
| (通信制講座の場合) スクーリングの実施場所、時期、期間 | 実施場所: 基本的に公共施設(社会福祉センターなど) 時期: 当該訓練期間内 期間: 7日間 |

5. 受講効果の把握方法

| | |
|---|---|
| (1) 受講認定基準 (6ヶ月ごとの出席率・定期試験、進級試験等の具体的な基準) | 通信科目は、添削課題を指定期間内に解答し提出。7割以上の正解において評価基準を満たしたものとします。スクーリングは、介護過程Ⅲ(実技試験、記録、学習態度における評価)は、7割以上の得点で評価基準を満たしたものとします。医療的ケア(演習)においては、基準を達成することが必要です。 |
| (2) 受講認定基準に係る、教育目標に対する技能・知識のレベル到達度把握・測定方法 | 各科目、合格点に達していない科目については担当講師より学習のアドバイスをを行います。それでも習得度が不十分な場合は、面接学習において指導を行います。 |
| (3) 修了認定基準 (出席率・修了認定試験等の具体的な基準) | 通信科目においては7割以上の正解において合格とし、スクーリングにおいては、すべての授業に出席し、所定の評価基準をみたしていることが確認された場合、修了証を発行します。 |
| (4) 修了認定基準に係る、教育目標に対する技能・知識のレベル到達度把握・測定方法 | レポート提出・スクーリングについて講師が評価を行い、全過程を修了した場合、実務者研修の修了とみなします。 |

6. 受講中又は修了後における受講者に対する指導及び助言並びに支援の方法

| | |
|---|---|
| (1) 受講中の者に対する習得度・理解度に関する具体的な助言・指導の方法 | (自宅学習)各科目、合格点に達していない科目については担当講師より学習のアドバイスをを行います。それでも習得度が不十分な場合は、面接学習において指導を行います。質問がある場合は、質問用紙に記入し提出。後日、担当講師が対応し、受講者に回答します。(スクーリング)講師がその場で直接答え、アドバイスします。 |
| (2) 受講中又は修了時における資格取得・就職への具体的なバックアップ体制 (例: 資格取得関連情報や資格関連職種の求人情報の提供方法、早期就職に向けた具体的な相談体制の整備状況) | 基本的に働いている方対象の研修であるが、要望があれば随時、就職相談、アドバイスを行います。 |

7. 受講修了者による講座の評価等(2021年度)

| | | |
|----------------------|--------------------------|-------|
| ① 回答者総数 | | 30 人 |
| ② 受講開始時の就業状況等 | 1 正社員 | 60 % |
| | 2 非正社員、派遣社員 | 30 % |
| | 3 その他の就業 | 7 % |
| | 4 非就業 | 3 % |
| ③ 就業中の受講者による講座の評価 | 1 処遇の向上(昇進、昇格、資格手当等)に役立つ | 63 % |
| | 2 配置転換等により希望の業務に従事できる | 3 % |
| | 3 社内外の評価が高まる | 0 % |
| | 4 円滑な転職に役立つ | 3 % |
| | 5 趣味・教養に役立つ | 7 % |
| | 6 その他の効果 | 13 % |
| | 7 特に効果はない | 3 % |
| ④ 就業していない受講者による講座の評価 | 1 より良い条件(賃金等)で就職できる | 100 % |
| ⑤ 受講者の就業状況 | 1 受講中又は受講修了後3~6か月以内に就職した | 100 % |
| ⑥ 講座の全体評価 | 1 大変満足 | 50 % |
| | 2 おおむね満足 | 43 |
| | 3 どちらとも言えない | 7 % |

8. 教育訓練の内容(教育内容及び到達目標はシラバス参照)

| 教科 (カリキュラム) | 時間 | 使用教材名 |
|--------------|-----|-------------------------------|
| (通信学習) | | 介護福祉士実務者研修テキスト (1巻~5巻)中央法規 |
| 社会の理解Ⅱ | 30 | |
| 介護の基本Ⅱ | 20 | |
| コミュニケーション技術 | 20 | |
| 介護過程Ⅱ | 25 | |
| こころとからだのしくみⅡ | 60 | |
| 発達と老化の理解Ⅰ | 10 | |
| 発達と老化の理解Ⅱ | 20 | |
| 認知症の理解Ⅱ | 20 | |
| 障害の理解Ⅱ | 20 | |
| 医療的ケア | 50 | |
| (スクーリング) | | |
| 介護過程Ⅲ | 45 | |
| 医療的ケア(演習) | 7 | |
| 合計 | 327 | |

| | | |
|----------------------|----------------------|------------------|
| 指定教育訓練実施者名 及び代表者名 | 株式会社ビーイング 代表取締役 富田和夫 | |
| 住所及び連絡先 | 松山市山越6-6-22 白鳳会館206号 | TEL 089-925-8815 |
| 苦情受付者(事務担当者) | 富田 和夫 | TEL 089-925-8815 |

専門実践教育訓練明示書

1. 講座情報

| | | | | | |
|------------------|----------------------------|------------|------------|---------------|-----------------------|
| 講座の名称 | 介護福祉士実務者研修(2級課程修了者)4ヶ月 | | | | |
| 施設名 | ビーイング | | | | |
| 実施者名 | 株式会社ビーイング | | | | |
| 指定講座番号 | 3810020-2010021-3 | | | | |
| 教育訓練給付金対象講座の指定期間 | 令和5年4月1日～令和8年3月31日 | | | | |
| 講座の創設年月日 | 平成28年5月1日 | | | | |
| 実施方法 | 通信課程 スクーリング(7日間) | 訓練期間(訓練時間) | 4ヶ月(327時間) | | |
| 開講月 | 教室により異なります (訓練は開講月の1日から開始) | | | | |
| 入学金(税込額) | 0円 | 受講料(税込額) | 80,000円 | 教育訓練経費合計(税込額) | 80,000円 (含まれない経費有) |
| 支払方法 | 一括払・分割払 | | | | |

2. 教育訓練目標

| | |
|---|--|
| ①取得目標とする資格の名称、目標レベル | 介護福祉士実務者研修 |
| ②当該資格資格・試験等の実施機関名称 | 厚生労働省 |
| ③当該資格等を取得するための要件または受験資格等 | 修了に必要な受講科目及び受講時間数全てを受講し、全ての科目に合格することが必要。 |
| ④当該技能・知識の習得が必須又は有利となる職種・職務及び習得された技能・知識が活用されている業界と活用状況 | 福祉施設、医療機関等 |

3. 受講者となるための要件 (この講座を受講するために必要とされている条件など)

| | |
|--------------------------------------|-------------|
| ①受講するに当たって必要な実務経験等 | 特になし |
| ②受講者が受講に最低限有しておくべき資格・技能・知識等の内容及びその水準 | 介護職員初任者研修修了 |

4. 教育訓練の受講による効果及び測定の方法並びにそのレベルを受講者に対して明らかにするための具体的な方法

| | |
|--------------------------------|--|
| 教育訓練目標に対する技能・知識のレベル到達度の把握・測定方法 | レポート提出・スクーリングについて講師が評価を行い、全過程を修了した場合、実務者研修の修了とみなす。 |
| (通信制講座の場合) スクーリングの実施場所、時期、期間 | 実施場所: 基本的に公共施設(社会福祉センターなど) 時期: 当該訓練期間内 期間: 7日間 |

5. 受講効果の把握方法

| | |
|---|---|
| (1) 受講認定基準 (6ヶ月ごとの出席率・定期試験、進級試験等の具体的な基準) | 通信科目は、添削課題を指定期間内に解答し提出。7割以上の正解において評価基準を満たしたものとします。スクーリングは、介護過程Ⅲ(実技試験、記録、学習態度における評価)は、7割以上の得点で評価基準を満たしたものとします。医療的ケア(演習)においては、基準を達成することが必要です。 |
| (2) 受講認定基準に係る、教育目標に対する技能・知識のレベル到達度把握・測定方法 | 各科目、合格点に達していない科目については担当講師より学習のアドバイスをを行います。それでも習得度が不十分な場合は、面接学習において指導を行います。 |
| (3) 修了認定基準 (出席率・修了認定試験等の具体的な基準) | 通信科目においては7割以上の正解において合格とし、スクーリングにおいては、すべての授業に出席し、所定の評価基準をみたしていることが確認された場合、修了証を発行します。 |
| (4) 修了認定基準に係る、教育目標に対する技能・知識のレベル到達度把握・測定方法 | レポート提出・スクーリングについて講師が評価を行い、全過程を修了した場合、実務者研修の修了とみなします。 |

6. 受講中又は修了後における受講者に対する指導及び助言並びに支援の方法

| | |
|---|---|
| (1) 受講中の者に対する習得度・理解度に関する具体的な助言・指導の方法 | (自宅学習)各科目、合格点に達していない科目については担当講師より学習のアドバイスをを行います。それでも習得度が不十分な場合は、面接学習において指導を行います。質問がある場合は、質問用紙に記入し提出。後日、担当講師が対応し、受講者に回答します。(スクーリング)講師がその場で直接答え、アドバイスします。 |
| (2) 受講中又は修了時における資格取得・就職への具体的なバックアップ体制 (例: 資格取得関連情報や資格関連職種の求人情報の提供方法、早期就職に向けた具体的な相談体制の整備状況) | 基本的に働いている方対象の研修であるが、要望があれば随時、就職相談、アドバイスを行います。 |

7. 受講修了者による講座の評価等(2021年度)

| | | |
|----------------------|--------------------------|------|
| ① 回答者総数 | | 16 人 |
| ② 受講開始時の就業状況等 | 1 正社員 | 88 % |
| | 2 非正社員、派遣社員 | 13 % |
| | 3 その他の就業 | 0 % |
| | 4 非就業 | 0 % |
| ③ 就業中の受講者による講座の評価 | 1 処遇の向上(昇進、昇格、資格手当等)に役立つ | 69 % |
| | 2 配置転換等により希望の業務に従事できる | % |
| | 3 社内外の評価が高まる | 13 % |
| | 4 円滑な転職に役立つ | 13 % |
| | 5 趣味・教養に役立つ | % |
| | 6 その他の効果 | 6 % |
| | 7 特に効果はない | % |
| ④ 就業していない受講者による講座の評価 | 1 より良い条件(賃金等)で就職できる | % |
| ⑤ 受講者の就業状況 | 1 受講中又は受講修了後3か月以内に就職した | % |
| ⑥ 講座の全体評価 | 1 大変満足 | 69 % |
| | 2 おおむね満足 | 25 % |
| | 3 やや不満 | 6 % |

8. 教育訓練の内容(教育内容及び到達目標はシラバス参照)

| 教科 (カリキュラム) | 時間 | 使用教材名 |
|--------------|-----|-------------------------------|
| (通信学習) | | 介護福祉士実務者研修テキスト (1巻～5巻)中央法規 |
| 社会の理解Ⅱ | 30 | |
| コミュニケーション技術 | 20 | |
| 介護過程Ⅱ | 25 | |
| こころとからだのしくみⅡ | 60 | |
| 発達と老化の理解Ⅰ | 10 | |
| 発達と老化の理解Ⅱ | 20 | |
| 認知症の理解Ⅰ | 10 | |
| 認知症の理解Ⅱ | 20 | |
| 障害の理解Ⅰ | 10 | |
| 障害の理解Ⅱ | 20 | |
| 医療的ケア | 50 | |
| (スクーリング) | | |
| 介護過程Ⅲ | 45 | |
| 医療的ケア(演習) | 7 | |
| 合計 | 327 | |

| | | |
|----------------------|----------------------|------------------|
| 指定教育訓練実施者名 及び代表者名 | 株式会社ビーイング 代表取締役 富田和夫 | |
| 住所及び連絡先 | 松山市山越6-6-22 白鳳会館206号 | TEL 089-925-8815 |
| 苦情受付者(事務担当者) | 富田 和夫 | TEL 089-925-8815 |